

令和7年10月17日

保護者各位

札幌市立西園小学校
校長 佐々木 雅巳

2025年度全国学力・学習状況調査の結果について

今年度4月に6年生を対象として「全国学力・学習状況調査」が行われました。8月に札幌市の調査結果の概要が公表され、それを受けまして本校の結果を分析しましたので、ご報告いたします。今後の教育活動を見直し、改善を図っていきたいと考えております。ご家庭でも、お子さんの学習や生活の充実の参考としてください。

分析結果(全国平均との比較)

(1) 学習や生活の状況についての質問紙から

※71問の質問の回答について、本校児童と全国の傾向は、ほぼ同じです。

その中で、特に本校児童の特徴が表れている項目を抜粋しました。

《自分自身・学校生活に関して》

肯定的な回答が多かったもの

- ・先生はあなたのよいところを認めてくれていると思いますか。
- ・人の役に立つ人間になりたいと思いますか。
- ・あなたの学級では、学級生活をよりよくするために、学級会で話し合い、お互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか。

肯定的な回答が少なかったもの

- ・将来の夢や目標をもっていますか。
- ・道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか。

《タブレット学習に関して自分に当てはまること》

肯定的な回答が多かったもの

- ・自分のペースで理解しながら学習を進めることができる。
- ・友達と考えを共有したり、比べたりしやすくなる。



肯定的な回答が少なかったもの

- ・自分の考えや意見を分かりやすく伝えることができる。

71問という膨大なアンケートの、細かい内容についてお知らせすることはできませんが、その結果の顕著な部分から見えることをお知らせします。本校児童の育ちや、西園小学校の教育の成果と課題として考えていきたいと思っています。

まず言えることは、まじめで一生懸命、ひたむきな児童像が浮かび上がってきます。学校はもちろん、家庭でも自己肯定感を育む取組が行われている証です。一方、時代の不確実さ、世の中の動向を受けて、将来への不安感が生まれてくることも、最もなことと思います。よりいっそう、一人一人の一生を支える道徳観のねっこを、今伸ばしていくことが大事だと思いました。また、話し合いで、よさを認め合いながら解決していくことも、引き続き行っていきます。

ICTに関しては、導入当初は個人でのドリル学習に偏りがちでしたが、ここ数年、考えを交流・共有できるツールとしての使い方を模索してきました。使いやすいアプリや教員の研修が進み、今年度の回答には、その様子が反映されてきました。個別学習・協働学習の両方で活用していきます。また、回答結果にも表れているように、より分かりやすく伝えるための「紙の学び」のよさについても実感しているところです。状況に応じて使い分けるハイブリッドな時代と言えます。

『先生はあなたのよいところを認めてくれている。』毎年この回答が群を抜いて高いです。我々の励みであり、より気を引き締めていこうという決意になります。今後もよろしくお願いします。



(2)「教科に関する調査」の分析結果と改善の方向について

【国語】

本校の概要

知識及び技能

「言葉の特徴や使い方に関する事項」

◇全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。

「情報の扱いに関する事項」

◇全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。

「我が国の言語文化に関する事項」

◇全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。

思考・判断・表現

「話すこと・聞くこと」

◆全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。

「書くこと」

◆全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。

「読むこと」

△全国平均を上回っている。

今回の調査における課題

➢ 学年別配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うこと。

➢ 情報と情報の関係付けの仕方、図などによる語句と語句の関係の表し方を理解して使うこと。

➢ 目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討すること。

➢ 目的や意図に応じて簡単に書いたり、詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。

➢ 事実と感想、意見などとの関係を徐述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握すること。

改善の方向

➢ 同音や同訓の漢字に注意し、言葉の意味を考えて文の中で正しく使う学習活動の充実。

➢ 複雑な事柄を分解して捉えたり、多様な内容を要素ごとに分類したりする際に、短い語句で端的に表し、図で表しながら考えをまとめる学習活動の充実。

➢ 実際の話し合いの場面を具体的に想定し、目的や意図に応じて話す内容や質問を分類・関係付けながら、話し合いの進め方を考える学習活動の充実。

➢ 詳しく書く必要のある場面や効果的な場面を判断し、情報を取捨選択しながら、友達とアドバイスし合ったりモデルを提示したりする学習活動の充実。

➢ 書き手が事実や事例として挙げていることを書き出し、中心となる事柄を正確に捉える学習活動の充実。

【算数】

本校の概要

領域

「数と計算」

◇全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。

「図形」

◆全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。

「測定」

△全国平均を上回っている。

「変化と関係」

△全国平均を上回っている。

「データの活用」

◇全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。

今回の調査における課題

➢ 異分母分数の加法の計算をすること。

➢ 平行四辺形の性質を基に、コンパスを用いて平行四辺形を作図すること。

➢ 伴って変わる2つの数量の関係に着目し、問題を解決するために必要な数量を見出し、知りたい数量の大きさの求め方を、式や言葉を用いて記述できること。

➢ 簡単な二次元の表から、条件に合った項目を選ぶこと。

改善の方向

➢ 分数の加法及び減法の計算の仕方を分数の意味や大きさに着目して考える活動の充実。

➢ 辺の長さや角の大きさ、辺の位置関係に着目して、図形の構成の仕方について考察する活動の充実。

➢ 日常の事象について、ある数量を調べようとするとときに、それと関係のある数量を見出し、それらの数量の関係を把握して問題を解決する活動の充実。その際、二つの数量関係を表・式・言葉を用いて表現することが大切。

➢ 表のどの部分に着目するのかを考えて、結論の根拠となる数値を読み取る活動の充実。

【理科】

本校の概要

領域

「エネルギー」を柱とする領域
▼全国平均を下回っている。

「粒子」を柱とする領域
△全国平均を上回っている。

「生命」を柱とする領域
△全国平均を上回っている。

「地球」を柱とする領域
◇全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。

今回の調査における課題

➢電流が作る磁力について、電磁石の強さは巻き数によって変わることを知識が身につけていること。

➢水の結露について、温度によって水の状態が変化するという知識を基に、概念的に理解していること。

➢レタスの種子の発芽の条件について、差異点や共通点を基に、新たな問題を見出し、表現すること。

➢赤玉土の粒の大きさによる水のしみこみ方の違いについて、結果やまとめを基に、他の条件での結果を予想して表現すること。

改善の方向

➢条件を表す言葉と、現象を表す言葉を使い分けて説明し、結果や結論を図に整理したり言葉で説明したりする活動の充実。

➢習得した知識を、他の学習や生活と関連付け、概念的に理解していく活動の充実。

➢問題を見出す力を育むために、観察・実験の結果を比較して、差異点や共通点を基に、具体的な条件に着目し、一人一人が見出した問題をノートに書くなどの、思考し表現する活動の充実。

➢得られた結果を、表やグラフで可視化し、規則性と傾向を推測し、他の条件での結果を予想する活動の充実。